

「スイカ」(Suica)利用のビル入退館システムを販売開始

CSPとJR東日本が共同開発

CSPセントラル警備保障株式会社では、非接触型の鉄道ICカード「スイカ」(Suica)を入退館用カードとしても利用できるビル管理システムを、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)と共同開発し、近く売り出します。

このシステムの特徴は、普段通勤などに使われている「スイカ」の定期券、イオカードをビル入館用としても利用できるものです。ビルの入退館時のセキュリティチェックは、既に多くのビルが磁気カードで実施していますが、この新システムは、ビルのオーナーや管理会社にとって煩雑なカード管理業務が軽減されるのが最大のメリットで、複製などの心配がなくなることからより高いセキュリティが確保されます。

JR東日本では、来春オープンを目指して東海道線品川駅東口に建設が進む「JR品川イーストビル」に導入する予定です。

システムの導入経費は20階建てビルで、工事費も含めて約1億円で、従来のシステムとほぼ同じです。

また、「スイカ」利用者にとっては1枚で、鉄道用、入館用として利用できるほか、さらに、来春から電子マネー機能も搭載予定なので、1枚の「スイカ」が3役を果たすこととなります。

(問い合わせ先：CSPプロジェクト開発部、澤口・早野・山口＝03-3344-8744)



「Suica」を利用したビル入退館システムの
デモンストレーション